



'84

鹿部町

No.177号

9・10月号



—町制施行記念
第13回 町民体育祭

9月23日、鹿部中学校グラウンドにおいて
第13回町民体育祭が行われ、全町民を
って楽しい秋の一日をすごしました。

昭和59年 第3回町議会 定例会

- 教育委員に坂井幸雄氏の任命同意
- 昭和五十八年度各会計決算の認定
- 土地の取得（七、〇〇〇坪産業廃棄物捨場用地）

昭和五十九年第二回町議会定例会は、九月二十五日に開会され、会期を四日間に決め、諸報告、町長の行政報告のあと議案審議にうつり、土地の取得、一般会計補正予算、特別会計補正予算、教育委員に坂井幸雄氏を任命し、ミンクの飼育事業特別委員会を設置し、一意見を採用し、請願を採用し、シートベルト着用推進に関する決議を採用し、昭和五十八年度各会計決算を認定して閉会しました。

議案第一号

土地取得について

次のおり、土地を買収する事としました。

- 一、土地の所在地、種別、数量
宇宮四五七番二五
雑種地 二二、二四二坪
(七、〇〇〇坪)
- 二、買取の目的
産業廃棄物捨場用地
- 三、買取の方法
随意契約 債務負担行為により七年賦払 年利率七・一％
- 四、買取価格
一、五〇〇万円
- 五、買取の相手方
鹿部町土地開発公社

議案第二号

昭和五十九年度鹿部町一般会計補正予算算決処分報告承認について

一般会計の総額に歳入歳出それぞれ一、〇二一万円を追加し、予算総額を二億四、二二七万八千円としました。

歳出の主なものは、次のとおりです。

- 町制施行記念映画作成委託料の追加
- 大岩生改センター備品購入費
- 太平洋さけます漁船生活安定資金貸付金
- 鹿部漁港整備事業負担金
- 駒ヶ岳演習場周辺障害防止対策事業砂防工事請負費
- 小学校建設に伴う北電高圧線移転搬賃費
- 鹿部中学校全道吹奏楽コンクール大会出場助成
- 中央公民館、出来湊公民館備品購入費
- 東光寺沢児童遊園地工事請負費

議案第三号

昭和五十九年度鹿部町老人保健特別会計補正予算について

老人保健会計の歳入歳出予算の総額にそれぞれ四〇万円を追加し、歳入歳出それぞれ二億一、六八〇万四千円としました。

議案第四号

昭和五十九年度鹿部町水道事業特別会計補正予算について

水道事業会計の歳入歳出予算の総額に二〇万九千円を追加し、歳入歳出それぞれ五、五七二万円としました。

議案第五号

鹿部町教育委員会委員の任命について

教育委員会委員に次の方を任命することに同意しました。

- 住所 宇本別一六番の二
 - 氏名 坂井 幸雄
- 昭和七年四月九日生

議案第六号

ミンク飼育事業特別委員会の設置について

ミンク飼育事業特別会計の健全運営の促進を図るため、ミンク飼育事業特別委員会を設置することとしました。(委員八名)

意見第一号

地方財政対策に関する緊急要望について

地方財政対策について、次のとおり意見書を提出するものとししました。

地方財政対策に関する緊急要望意見書

地方財政は、昭和五〇年度以降長期にわたり収支不均衡の状態にあり、昭和五十九年度末においては借入金等の累積額が五四兆円にものぼり、その償還が地方財政の大きな負担となっている。

更に、明年度においても巨額の財源不足が見込まれており、地方財政の現状は地方交付税総額の削減はもとより、国庫補助負担率の引き下げによる地方負担の増加を受け入れられるような状態にない。よって、明年度の予算編成に関して、左記の事項を強く要望する。

記

- 一、地方財政に対する国の財政保障の責務を全うするため、所要の地方交付税総額が確保されるよう万全の対策を講ずること。



内閣官房長官

二、最近、国の財政負担を軽減するため、国庫補助負担金を引き下げようとする動きがあるやに仄聞するが、これは地方財政の厳しい現状を無視し、地方公共団体に一方的に財政負担を転嫁しようとするものである。このような措置は絶対にとらないこと。

以上地方自治法第九十九条第二項の規定により意見書を提出する。

提出先 内閣総理大臣、大蔵大臣、自治大臣、総務庁長官

議案提出者 松川 義雄
賛成者 西谷 正昭
〃 渡部 良次
〃 佐藤 友一

意見第二号

非課税貯蓄制度の改正に反対し、現行非課税制度の補償に関する要望について

非課税貯蓄制度の改正に反対し、現行非課税制度の補償について、次のとおり意見書を提出するものとす。

非課税貯蓄制度の改正に反対し、現行非課税制度の補償に関する要望意見書

政府税制調査会の中答申は、利子配当課税制度のあり方に際して、非課税貯蓄制度の見直しをはかり、早急に具体的方策を本年中ごろまでに結論を打出すことにしています。

単に見直しといっても中に有力発言をして廃止論を唱えていることもあり、郵便貯金やマル優制度が国民の間で定着してわが国の貴重な社会的財産となっていることも国民の貯蓄精神をよみにじる無謀な施策を打ち出さうとしていくことであります。

貯蓄の目的に鑑み、わけても郵便貯金は、制度創設以来一貫して

利子非課税が根幹であり、国民生活や経済社会に果してきた役割からして、今後とも現行非課税制度を堅持されるよう強く要望する。

以上、地方自治法第九十九条第二項の規定により意見書を提出する。

提出先 内閣総理大臣、大蔵大臣、郵政大臣

議案提出者 松川 義雄
賛成者 西谷 正昭
〃 渡部 良次
〃 佐藤 友一

請願

大岩地区離岸堤設置に関する件
大岩地区に離岸堤を設置されるよう国、道に對し要請方を要望し採択されました。

請願者 盛田勇太郎外八三名
紹介議員 渡部 良次

決議第一号

シートベルト着用推進に関する決議
シートベルト着用推進について次のとおり決議しました。

シートベルト着用推進に関する決議

悲惨な交通事故を防止し、安全で快適な交通社会を確保することは、全町民の願いであります。しかるに近年、交通事故は多発の傾向にあり、誠に憂慮すべき状況であります。

このような悲惨な交通事故から尊い町民の生命を守ることこそ当面する重要課題である。

乗員の人命保護等に極めて有効なシートベルト着用推進を、全町民とともに協力に展開することを決議する。

昭和五十九年九月二十六日
鹿部町議会

認定第一号

昭和五十八年度鹿部町一般会計歳入歳出決算認定について
昭和五十八年度鹿部町一般会計決算を認定しました。

決算総額は、歳入一五億九、三七九万九、八八九円です。

認定第二号

昭和五十八年度鹿部町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について
昭和五十八年度鹿部町国民健康保険事業勘定特別会計決算を認定しました。

決算総額は、歳入三億一、八二

五万九、一六三円、歳出三億一、七八六万四、二二六円です。

認定第三号

昭和五十八年度鹿部町老人保健特別会計歳入歳出決算認定について
昭和五十八年度鹿部町老人保健特別会計決算を認定しました。

決算総額は、歳入一億九、三三一万八、一六二円、歳出一億九、三三万八、一六二円です。

認定第四号

昭和五十八年度鹿部町ミンク飼育事業特別会計決算を認定しました。
昭和五十八年度鹿部町ミンク飼育事業特別会計決算を認定しました。

決算総額は、歳入一億六、五五万、五九九円、歳出一億六、五五万、五九九円です。

認定第五号

昭和五十八年度鹿部町水道事業会計歳入歳出決算認定について
昭和五十八年度鹿部町水道事業会計決算を認定しました。

決算総額は、収入五、七九〇万九、一九九円、支出五、五一四万九、四七六円

楽しかった秋の一日

町制施行記念第13回町民体育祭



堂々の選手入場

町制施行記念第13回町民体育祭が、九月二十三日(秋分の日)に鹿部中学校グラウンドにおいて行われました。

午前六時、秋の澄みきった朝の空に体育祭の実行を知らせる花火が上がりました。絶好の体育祭日和です。

競技開始の午前九時前ともなると、運動づくしにジャージ姿の家族がぞくぞくと集まり、会場はいっぱいになりました。

午前九時、花火が体育祭の開始を告げ、アラカードをもったかわいい幼稚園児を先頭に役員、選手団が入場しました。堂々と胸を張り、まるでオリンピックの入場を

思わせる入場行進に拍手が贈られていました。

選手団が入場整列し、九時二十五分に町民体育祭の開会が告げられました。

大会長の川村町長のあいさつ、船橋町議会議長の激励のことばのあと、選手を代表して清水水元吉さんが選手宣誓を行いました。

開会式のあと、みんなでラジオ体操をし、いよいよ競技が開始されました。プログラムは、どれもアイディアいっぱい、漁業のマチならではの「ホタテの耳ぶり」といった競技もありました。

徒競走では、年別に走るきよ離が交えられましたが、ゴールに着くなり青い顔で、ハイハイ、ゼーゼーとふだんの運動不足が表われます。

応援席からは、「〇〇さんは、中学校の時は選手だったのに」とか「昔はもっと速かったのに」と



聖火の点火



徒競走

いう声か……。

「あやつり人形」は、手と足を紙テープでつないで、テープを切らないように走りますが、これ又走りづらいもので、応援席からは大声援が贈られます。

「幸運の女神」では、フーセンの中に入っている番号が入賞の順番とあって、一番最後に残ったフーセンを割ったお母さんが一等になる等、正に幸運の女神をひき当てました。

「むかで競走」は、いつの大会でも人気種目で、走る前に「右から出るよ」、「左からイチ、ニ、イチ、ニだぞ」といったぐあいに入念な打合せはありますが、いざ走り出すと打合せ事項はどこへやら、なかなか走り出さないチーム、順調に走りもうすぐ交番という時に呼吸が乱れて倒れるチーム、起き上ってもまたすぐころぶチームと様々です。



今日も大漁(魚箱運び)

「ホタテ耳ぶり競争」では、練習量充分のお母さん方が、普段の実力を発揮しました。

「僕かつぎリレー」では、各チームの力自まんが出場し、激しいデットヒートを展開しました。

「鹿部ギネス」に挑戦、二十人なかとび」では、一チーム二十二人により二十人がなわとびをしました。成績はいま一、次の体育祭にも採用される種目なので、ふだんから練習して下さい。

「孫へのみやげ」では、六十才以上のおじいさん、おばあさん方が、孫へのみやげ袋をもらって大喜び、それをもらった孫も大喜び。

夏の陽を思わせるあたたかい秋の陽をいっぱい浴び、顔に汗して全町民が一体となって楽しんだ町民体育祭、これからの町づくりも全町民が一丸となって一致協力し、みんなの力でよりよい町づくりと鹿部町の発展に頑張りますよう。



ムカデ動かす



匝部ギネスに挑戦20人なわとび



それ引け



おはようございます。きちんとあいさつのできる園児です。

しかべ幼稚園運動会

九月十一日、しかべ幼稚園グラウンドにおいて、開園第十一回運動会が行われました。

本来は、九月九日の予定でしたが、雨天の為延期となり、この日に行われたもので、当日は朝から好天に恵まれた秋空のもと園児たちは、一生懸命走ったり、踊ったりしました。

お母さんとの親子ゆうぎでは、



ゆうぎ「島のしゅう長さん」



かんぼっくりを使っての競技

実に楽しそうに踊っていましたがお母さん方は、練習不足のためか目はリーダーの先生の方ばかり、やっと思えた頃には、もう終りで汗をかいた親子ゆうぎでした。

また、親子競技では、子供達よりお母さんの方が、真剣そのもの、リレーに至っては、走る園児よりもハッスル、中には子供と一緒に走り出すお母さんも……。

先生と園児とお母さんの交流をますます深めた幼稚園運動会でした。



おばあちゃんとの競技



よいい・ドンノ

第三回しかべ海と温泉のまつり 花火大会行われる。



開会式

八月二十五日、二十六日に第三回しかべ海と温泉のまつりと花火大会が行われました。

この「海と温泉のまつり」は、昭和五十七年度から海と温泉のまつり実行委員会（会長 佐々木克三郎町内会連分会長）の主催により行われているもので、今年で三回を数え、当町の自然的条件を生かし、地場産業や観光を幅広く広報し、地域経済の活性化を図るため

八月二十五日、二十一日に第三回しかべ海と温泉のまつりと花火大会が行われました。

この「海と温泉のまつり」は、昭和五十七年度から海と温泉のまつり実行委員会（会長 佐々木克三郎町内会連分会長）の主催により行われているもので、今年で三回を数え、当町の自然的条件を生かし、地場産業や観光を幅広く広報し、地域経済の活性化を図るため

当町の特産物である海の幸と温泉を積極的に宣伝することを目的として行われたものです。

二十五日は、町内百人パレードで幕をあげました。午後一時に大岩生改センター前に役員関係者と各町内会からの百人の踊り手が集まり、午後一時三十分、佐々木会長挨拶のあと花火の合同パレード隊が出発しました。

踊り手は、今年新調したそのいのゆかたを着て、鹿部小唄とソーラン節を見事に踊りながらパレードしました。パレードは、大岩から鹿部漁港前まで行進し、漁港前から出来前に移動、その後本別、宮前、鹿部漁港内の会場まで全町くまなくパレードしました。

その後、会場では午後五時三十分から「道南カラオケフェスティバル」が行われ、近隣五町から二十人の白旗が参加しました。午後七時三十分からは、鹿部温泉観光協会の主催による花火大会が三年ぶりに行われました。

夏の夜空に映えるスターマインや仕掛け、早打ち花火に観客からは歓声が上っていました。

二十六日は、鹿部漁港内の会場において午前九時から開会式が行われ、川村町長挨拶、佐々木実行委員長の挨拶のあと関係者によるテープカットが行われ、同時に花火、風船がはなれ、まつりムードを盛り上げました。

会場内に設けられた特設ステージでは、民謡愛好会による民謡、RCAレコード重木寛子ショー、地元青年バンドのビテカントロブスによる唄と演奏等が行われました。

会場の各コーナーでは、風船のサービス、カジカ汁のサービス、すいか割り、ラムネの早飲み等のゲーム等も行われました。

また、鹿部青年部によるミニ水陸稲は、大人気で、マンボーヘキナンボ、黒ソイ、イカ、サバ、ウニ、ナマコ等生きた魚介類が水そうに入られて展示されました。ポニー乗馬も大人気です。道南ファームの協力により二頭のポニーが会場内コースを子供を乗



↑ポニー乗馬



町内百人パレード



↓すいか割りゲーム



イワシの無料サービス

せて歩き、長い子供の列ができました。

また、会場内には、生きたミンクと毛皮が展示され「鹿部ミンク」をPRしました。

更に、フジカラー・モデル撮影会が行われ、沢山のカメラマンが集まりました。

即売コーナーでは、漁協がホタテ、昆布等、商工会青年部が生イカ、ウナギ、温泉土手等、商工会

婦人部がクラ子、珍味、海産物等を売り好評を博しました。

また午後二時から、イワシの無料サービスが行われ、訪れた人たちは手に手に新鮮なイワシの入った袋を付けて帰りました。

二十五、二十六日の両日で延べ一万人の人が鹿部を訪れ、盛況のうちに終わった「第三回しかべ温泉のまつり」と「花火大会」でした。

おじいさん、おばあさん いつまでもお元気で

—昭和五十九年度鹿部町敬老会行われる—

昭和五十九年度鹿部町敬老会は、九月十五日の「敬老の日」に、中央公民館で午後一時から行われました。

当日は、町の福祉バス二百と函館バス一台が運行され、町内各地区からおじいさん、おばあさん方を送迎しました。

バスから降りたおじいさん、おばあさんは、入口で受付をし会場の大ホールに入り思い思いの場所に仲間の人たちと座りました。

本年度の敬老会への招待者は、今年中に七〇才以上になる方三二

七人でしたが、当日出席された方は一一七人でした。

出席者の中には、リハビリ、特別養護老人ホームからも車イス等で出席された方もおりました。

敬老会はまず、長寿祝品、米寿祝品、知事祝品が贈呈され、次いで川村町長が、「日本は、世界一の長寿国となった。鹿部のおじいさん、おばあさん達も、徳之島の長寿世界一泉重千代さんに負けな

いよう長生きして下さい。また、町の発展の為に力を貸して下さい」と挨拶し、船橋町議会議長の祝辞

があり、そして祝宴に入りました。祝宴では、小山老人クラブ連合会長の首頭で、米年の敬老会まで一人も欠ける事なく、米年も敬老会である事を約束して、祝杯をしました。

テーブルの上には、ビール、酒、ジュース等の飲みものや折詰が並べられ、鹿部婦人会の有志のみなさんの心づくしの料理が運ばれ、となりの人と互いにのみ物をつぎ交しながら、若い頃の話を花を咲かせ、楽しい一時をすごしました。

また、余興として、民謡愛好会による民謡、藤間会による舞踊、カラオケ愛好会による唄等が行われ、おじいさん、おばあさんは大へん喜んでいました。

おじいさん、おばあさん、米年も元気で、是非敬老会に出席して下さい。

◎長寿祝品を受けられた方(敬称略)

- 山内 樞松 九四才
- 松本 みな 九三才
- 山内 リツ 九〇才
- 椎野 助五郎 九〇才
- 本多 平四郎 九〇才
- 古村 マサ 八八才
- 阿部 うめ 八八才
- 楠美 ミサヲ 八八才

◎米寿祝品を受けられた方

- 飯田 常太郎 八九才
- 沢川 きさき 八九才

◎知事祝品を受けられた方

- 飯田 常太郎 八九才
- 沢川 きさき 八九才



鹿部今昔

-9-

婆を背負つて

逃げた駒ヶ岳噴火

昭和四年六月十七日、この朝私が床を離れたのは午前四時少し過ぎであった。いつもと同じように外に出て海を眺め、空を見上げた。

海は、上風、空は何となくどんよりしているようであったが、これも上天気であった。しかし、東の空は満州の黄塵に映えた夕日のようにまっ赤に染まった中から朝日が昇りつつあった。

また、海岸から西、山の本々等一面に灰にまつまれている。下度、隣りの田舎盛田のおど(盛田吉太郎さん)も「まんぶ」「海岸の小高くなったところ」に立ってあちらこちらを見渡し、「この位の高くは、畑の虫も死ぬし、何はが肥にもなるし、いいあんばいだなあ」と話し合っていた。

朝食を干ませ私の仕事場に行く為、家(宇大岩)を出たのは午前六時頃であったろうか。その当時今の鹿部漁港の所に河津木さんが春網を建てており、今盛田でその漁獲物を買って魚船をつくらせていてその製品を倉庫に格納する

のがその日の仕事であった。作業場に行く途中シンベあたりで目に灰が入り、目をこすりこすり現場に行つた。

予定の作業を終え、ほっと一息ついた瞬間、一大奇襲と共に大気を震わして駒ヶ岳から煙が上がった。

「おっ爆発だ」思わず海辺に走つた。駒ヶ岳の方を見ると左影は全く見えないうちに、三合目附近から白煙が濛々と立ち昇り、上昇するに従って黒々ととなり、まっ黒な黒煙柱が上空に突き上り、それは、西風のため最初は、出来備から空襲方向に流れていたが、次第に鹿部方面に広まってきた。

はじめの頃は、灰の粉の様なものであったが、やがて砂粒様のものが混って落ちてきた。

「これは、大変だ」と思つて鶴の湯に自転車走つた。鶴の湯の

道路に面した二階建ての時は、樓上をやって何日も経つていなかった。外まくりも十分張つていなかったのである。行つたところ、今盛田の「どっちや」が居て、「すぐ本別に行つて高橋のばばをつれてこい」といわれた。

当時の小学校附近に来た時は、本別方面から避難者が、バケツ、どんじや等をかぶり道路いっぱい走つてきた。

道路は、降つた灰や石のためぐざぐざして自転車では行けない状態となり、小学校グラウンド横にあつた郵便局の中に自転車を入れて走つた。

途中、色々な人から声をかけられ、「今ころから、あつちや行つたら死んでしまふべき」と注意を受けながら高橋についた時は、人影は見当たらなかつた。

司の家の中では、パパとママが盛んに言い争つていた。ママは、「早く一語に逃げてください(逃げ下さい)」とママに迫るのに、パパは、「オレが建てた家だし、一語に死んでもいいし、なだけオレにかまわで、わらしと一語に早く逃げろ」と言つているところへ飛び込んだ。

私は、たなだつたか、ひもだつたか忘れたが、否応なしにパパを背負い走つた。

ようやく高橋の古村さんの家にとどり着いた時は、本別よりも落石はやや小型のようであつた。

十分間程一休みしていた所に、平盛田さんが、舎田中さんの乗用車に乗つて迎えてきてくれた。舎田中さんの乗用車は、大沼(鹿部)間の客馬車の一助に購入したもので、鹿部で唯一の自動車であつた。四人乗りか、五人乗りかわからな

いが、つかまれるところには皆んなでぶら下つてフォードの自動車が、ヨク／＼と動き出した。

私達は平家はこの自動車を、「舌の馬車」といつていた。それは、よく故障しては馬にひかれ特に叩ふり後の抜石の坂のぬかるみで動けなくなることが多く、その度に、小川部落にあつた鹿部山の破黄の運搬馬車の馬を借りてひっぱつていたのである。

ようやくよるめきながら大岩の今盛田に着いた時は、もう今

避難して来た人でいっぱいであつた。省工事も同様避難者でいっぱいであつた。すぐに土蔵、網倉、船倉を開放したが、炊事を手伝つた人の話では七百人以上いたようであつた。にぎり飯をもらつてすぐ(下(南茅部町方面)へ行く人、新たに逃げてきた人ととても実数は握り得なかつた。

とにかくこの時は、今の倉庫に鯀場用として準備していた米が、二百七十俵あつた。水は、この年の四月に裏山の小川の水元から舟を継ぎたして家まで水道をひいていた。他の河川は全て灰のため濁り、山際の湧き水を利用したところ

ろは、山から崩れ落ちる火山灰の埋つてしまつた。また、汲井戸には全て灰が混入して使えず、異状なく使えるのは今の水だけであつた。

炊事を手伝つてくれた常路(大岩)の女の人は、美に美しく働いてくれた。自分達の食事をやる暇もない程忙しかつた。「ママ」も「がが」も「かつちや」も美によく働いた。

一般の人は、網倉や船倉、今主屋に分散したが、年寄りだけは土蔵に収用した。

正午をちよつと過ぎた頃になる

と指光も見えなくなる程急にまっ暗になつたので、「イカつけ」が使つたカーバイトのガス灯を家の内の各所につけた。



大沼から見た駒ヶ岳の噴火



噴火のあとの惨状

まっ暗い中、ガラスの破損を防ぐため家の廻りにむしろを張り、火山灰に埋った薪を燃やして炊事に用いるに割らなければならなかった。

午後四時半頃であったろうか。急に屋外が真っ赤に映えた。夕日が駒ヶ岳の火柱に照合したのであるか？「鹿部の方が火事だ！」との叫びも伝った。また、丁度干潮時の海が見えたが、干潮の上には軽石、火山灰がはるか沖合まで浮いていたので何百回も沖まで潮がひいたように見えたためか、「あつ津波が来る」と言い出した者がいた。一瞬にして騒然となり、「白尻の方に逃げれば、途中で津波にやられる。山に逃げよう」と騒ぎ出

した。いくらたつても津波は来ない。沖の方も軽石のためだと説得しても治まらず、止むなく「逃げたい者は勝手に逃げる。但し、勝手に行く者には携飯はやらない」と言い渡したが、何人かは山の斜面を登って行った。しかし、登れば滑り落ち、登れば滑り落ち結局指の先を血だらけにして帰って来て騒ぎは一応収まった。

鹿部、本別の方から避難して行く人は、依然として続き、「指戸川橋が落雷で燃えた」とか「草薙きの屋根に落ちた石が割れた途端に火が出て火事になっていた」とか色々な情報が入ってきた。

午後六時半頃どつと一団がなだれ込んで来た。薪の屋根がつぶれたのだ。

夜のふけるにつれ落石もまただん少なくなり、ひっきりなしに鳴り響いていた雷もいつの間にか聞こえなくなっていた。避難してきた人々も各自各種おむりに付き、長かった六月十七日も終ろうとしているが、炊事の方だけは明朝の食事のため一生懸命働いている。

——終り——

忙しい中を暇をみつけては少しづつ駒ヶ岳温泉当日の自分の直画した面だけを書いてみた。
しかしまだ書き足りないような気がする。

大沼 工藤 啓五郎

消費者 質問箱

相談

(ケース①) 健康機器の販売代理店から次のように言われた。

「百万円分の商品を販売すれば二五%の利益がある。さらに、他に販売してくれる人を勧誘すれば紹介料が入り、月収六百万円も可能だ。本当でしょうか。」

(ケース②) 某社の説明会に行ったら「複製販売の代理店になり、知人を紹介してくれば紹介料を支払う」という、信用できるといふ話か。

(ケース③) 「これは、風呂に入れて使うとコレステロール、中性脂肪が体外に出る、という商品。もうかるので販売してみないか」と言われた。

答

これらの相談例は、単に商品を購入するだけでなく、その商

品を販売したり他人にも次々に勧めて、販売網を広げていく商法で、業者の間では紹介販売と呼ばれています。

「よい商品だと人に感謝されて、収入になる。」
「いい内職になる。」
このような甘い言葉で誘われると、つい、その気になりがちですが、実際にやり始めると次のような困難に直面することが多いようです。



■紹介販売■

自分ばかりか 他人にも損害を 与えます

新しい販売員を増やすために、業者は、次のような言葉巧みを勧誘する例が多く見られます。

「販売すれば〇〇%のマーキングが入り、さらに、人を紹介すれば、紹介料がもらえます。」
「委託販売あるいは代理店契約で高収入が得られる。」

▽商品販売の経験がないため、思うように売れない。
▽紹介する人が、仕事関係、友人・知人、親類など身近な人に限られ、それ以上なかなか増えない。
▽商品価格が適正かどうか、本当に良い商品かどうかなどを判断できる知識・経験がないため、苦情に対処できない。

この結果、売れ残り商品を大量に抱え込んだり、市価より高く、しかも粗悪品だったり、紹介した人から苦情を言われたり……など、自分が被害に遭うばかりでなく他人にも損害を与えたりします。その結果、経済的にも精神的にも大きな負担を抱え込むこととなります。

現に、被害者の会を結成し、団結して業者と交渉している例もあります。
うまい話にうっかり乗らないよう、くれぐれも気をつけたいものです。



ご存知ですか

国民年金の知識

-9-

「掛けて安心
もらってうれしい国民年金」

■早い程よい

■国民年金の加入

当市では、国民年金未加入者に加入の促進をしております。
国民年金は、二十歳から六十歳までの人で、厚生年金などの他の公的年金に入っていない人は、すべて加入する年金制度です。
他の公的年金をやめた人はもちろん、国民年金に入るはずの人で未加入の人は、今すぐ、役場年金係で加入の手続きをして下さい。

■国民年金保険料は

■納めましたか

第二期分(七月・九月)の国民年金保険料は、納めましたか。納付期限は十月末日です。
保険料を納付期限までに納めなければ、不利の事故にあつたときの障害年金、母子年金などが受けられないばかりでなく、将来、老齢年金も受けられない場合があります。

また、保険料を何カ月も未納にしておきますと、額が多くなり一度にまとめて納めきれなくなり、すので、期限までに必ず納めるよう心がけましょう。
保険料の納付が困難な場合は、保険料免除の手続きをお忘れなく、
くわしいことは、役場民生課国民年金係にお問い合わせ下さい。

■国民年金証書は

■大切に

福祉年金の証書は、年金受給者であることのアかしです。その支払は、証書と印かんがあれば指定した郵便局で受領できます。
ですから、証書は、小切手と同様に大切なものです。証書と印かんは、別々の所に保管するなど盗難事故に備えましょう。
年金は、受給権者の権利を守る

ことから、本人受領が原則です。本人が病気などで受け取りに行けないときは、代理人が本人に代って受領することができますが、その場合は、委任関係を明確にすることが、あなたの年金を守ります。



毒の気

「お気の毒に……」と言え、他人の不幸に同情する言葉。しかし、もともと「気の毒」という表現は、自分の気持ちに毒。つまり苦痛を感じる意味に使われました。

「気の毒は身の毒」ということわざは、心配して気にしすぎるのが体によくないことをいっているのです。狂言で「さてさて気毒をことごとさる」というのも、自分が困った状態になっていることの意味で、ひとの事を言っているのではありません。



—19—

ベンチャービジネス

独自の優れた技術や経営のノウハウを武器として、積極的に経営を拡大していこうとする企業家精神おう盛な、自主独立の中小企業(あるいは中堅企業)のこと。

ベンチャービジネスは電子、化学、機械などから、最近では流通、サービス産業にも広がっており、わが国の中小企業および地域経済の活性化、技術開発基盤の強化などの先導的役割を果たすものと、各方面から期待されています。

また、今後は、日本経済の創造的な知識の集約化を実現していく上でも、極めて重要な役割を担うものと考えられております。

ベンチャービジネスの成長、発展には、何よりもまず各企業の自助努力が第一ですが、ベンチャービジネスは、資金調達や人材確保などの面で種々の問題を抱えています。そこで、環境と基盤の整備のためにも、政府による側面的支援が望まれています。

町民演芸の夕べ



八月十四日、午後六時から中央公民館において町内会連合会（会長、佐々木克三郎氏）の主催による町民演芸の夕べが行われました。出演者は、各町内会のもので自慢十八人で、カラオケをバックに見事に唄い上げ、会場に詰めかけた四百五十人の観客からは大きな拍手が贈られました。特に所属町内会からは、一際大きな声援が贈られました。

すこしました。

○町長賞

木村 衛さん 字本別

「終着駅は始発駅」

○議会議長賞

吉田 雅利さん 字本別

「哀愁の高山」

○農業協同組合長賞

石田 純治さん 字本別

「長良川漁歌」

○商工会長賞

吉田 みゆきさん 字本別

「つぐない」

○町内会連合会長賞

伊藤 恵子さん 字本別

「下町育ち」



親子共演



町長賞 木村さん



調子いまいち松川さん



名調子 小林アナ



熱場 村林さん



ゲスト歌手と伊藤副会長

昭和五十九年度

成人式行われる。

昭和五十九年度鹿部町成人式は、八月十五日午後四時から中央公民館において行われました。

式には新成人五十八人が出席し、川村町長、船橋町議会議長、山崎教育委員長の祝辞のあと、新成人を代表して鎌田健治君と山上明美さんが、「成人になって、今日まで育成してくれた両親と先生、社会に対し感謝し、①正義と真実と愛に忠実であり、②憲法に保障された平等のもとその義務と責任を果たし、③我々の共同体である郷土、国家、社会と民族及び人類の幸福と平和の為に共に助けあい力を尽くします」と誓いあいました。



パネルディスカッション



昭和59年度鹿部町成人式



誓いのことば

その後、記念品の贈呈をうけ、「成人について」のパネルディスカッションをいたしました。土谷社教課長の司会で、成人代表の野田勝彦くん、藤林尚子さん、商工会青年部長の川村一治さん、社会教育委員長深川龍さんの四人のパネラーが討論を行いました。

終了後は、みんなで記念撮影をし、その後十人ぐらゐのグループにわかれ、恋愛や結婚、成人して等のテーマで話しあい楽しい一時をすごしました。

お知らせ



寄付のお礼

◎松川政太郎氏より町社会福祉協議会に現金十萬円の二寄付がありました。

◎川口常行氏より町社会福祉協議会に現金七萬円の二寄附がありました。

社会福祉協議会では、二芳志通り有効に使わせていただきます。本当にありがとうございます。

◎奥部梅花講から一萬円、本別梅花講から一萬四の二寄付が町へありました。

町では、二芳志通り有効に使わせていただきます。

本当にありがとうございます。



赤い羽根共同募金に
ご協力下さい。

—やさしさを隣人に—

ことしも赤い羽根共同募金運動が十月一日から十二月三十一日まで、三ヶ月間行われます。

あなたのあたたかい思いやりをお寄せ下さい。ひとりひとりの善意が集まって、大きな輪になるよう、運動に協力しましょう。

人権心配ごと相談所を
開設します。

両館地方事務局、両館人権擁護委員協議会では、人権擁護活動の一環として次のとおり「人権心配ごと相談所」及び「無料法律相談所」を開設いたします。

担当者は、弁護士、法務局職員と当町の人権擁護委員が当たり、土地、家賃の貸借、親子、夫婦、金銭、登記、相続関係等身近かな法律問題や人権問題等心配ごと相談に応じます。

相談内容については、一切秘密が守られ、無料ですのでどうぞお気軽にご利用下さい。

▽日時 十月二二日(月)

午前十時—午後三時

▽場所 中央公民館

▽奥部町人権擁護委員

立部 誠一 字鹿部

☎ 七二二二五〇

川村 太一 字本別

☎ 七二二二三九

※ 人権擁護委員の自宅ではないつても相談に応じます。

へ人権の共存

互いに相手の立場を考えて

豊かな人間関係をつくろう

愛のカーネが
完成しました。

町が五十七年度から三ヶ年計画で設置していた「愛のカーネ」が、本年度、出来例合館前と大宮生改センター前に完成しました。

これら町内全域域に設置されたことになり、毎日朝六時二十分、夕方五時、夜八時の計三回美しいメロアイで時刻を知らせてくれます。

本年度一基分の工事費は三〇八万円ですが、その内一〇〇万円は財団法人自治総合センターの宝くじ助成金によるものです。



暮しの相談

を受け付けます。

税金、社会福祉、道路、その他役所に対する苦情、要望、意見の相談に応じる「暮しの相談」を行います。

▼日時 十月十七日

午後一時三十分—四時

▼場所 中央公民館
▼担当者 行政相談員
吉村 敏男

42人乗り福祉バスを
購入しました。

九月五日、42人乗りの福祉バスを購入しました。

これは、諸福祉対策事業の一つとして購入したもので、事業費は、一三二五万円(うち道補助一五〇万円)、42人乗りの中型バスで、クイラー、リクライニングシート、カラオケ、バックTVカメラ等が装備されていて、楽しく、ゆったりと安全に旅行ができるようになっています。



新築公営住宅入居者を募集します。

昭和五十九年度建設公営住宅の入居者を次のとおり募集します。で、入居希望者は役場企画管理課まで申し込み下さい。

☆募集住宅

はまなす団地二種3DK 四戸

☆申込期間
十月二十日～十一月五日

☆家賃
一ヶ月 二〇,〇〇〇円(予定)

☆入居月日
十一月二十日(予定)

☆申し込みの方法
役場企画管理課に備え付けの用紙に記入捺印の上申し込み下さい。

☆入居資格
○ 現に同居し、又は同居しようとする親族があること。
○ 政令で定める基準の収入があるもの

○ 現に住宅がなく困っているもの

その他詳しいことは役場企画管理課までお問い合わせ下さい。

(企画管理課)



子宮ガン検診を行います。

町では、三〇才以上の女性を対象に毎年子宮ガン検診を実施していますが、今年度も次のとおり実施いたしますので、三〇才以上の女性の方は是非受診して下さい。

一、日時 一〇月一七日
場 所 鹿野会館

8:00～8:30受付
本別会館

二、対象者 三〇才以上の女性

三、料 金 一、三〇〇円

(七〇才以上の方及び生徒世帯の方は無料)
(民生課)



30才をすぎたら症状がなくても年一回の定期検診を!

熊が出没しています。ご注意下さい。

秋ともなれば、アドウやキノコ等山の幸を求めて多くの人が山に入ります。ところが、秋はまた、ヒグマにとっても冬ごもりを前にして、どんな欲に食物をあさり歩く季節です。クマによる事故を防止するため、山に入る時は次のことを守りましょう。

○ 山に入る時は、クマの出没状況を確かめ、必ず二人以上で入ること。

○ 山にはクマの活動する早朝や夕方には入らないこと。

○ 苗やラッパなどを持ち歩き、ときどき吹き鳴らすこと。

○ 食べ物の残りなどのゴミは、クマのエサになりやすいので、捨てずに持ち帰ること。

○ クマの姿や足跡などを見た時は直ちに引き返し、役場や警察に知らせましょう。



(産業課)

ヘリコプターによる殺せ刺の空中散布を行います。

一月二日、野ネズミ駆除のためヘリコプターによる殺せ刺の空中散布を行いますので、作業中の入林についてはご注意ください。

一、とき 一月二日
(天候により変更する事があります)

二、ところ 大岩地区森林 五ha
鹿部地区森林 一九ha
宮浜地区森林 一一ha
(産業課)

ママさんバレーボール部員を募集しています。

町ママさんバレーボール部(部長 高谷照子さん、部員一五人)では、部員の募集をしています。加入を希望する方は、次のところへ申し込みして下さい。

高、練習は、毎週月、木の午後七時～九時まで行っています。

▽連絡先 宇宮浜 高谷照子まで
☎七二一九一六

さけ・ますの密漁をなくしましょう!

◎大切なさけ・ます資源をみんなて守ろう。

★お互いに監視しあおう さけ・ます密漁★



毎年秋に川にのぼる「さけ」「ます」は産卵のために、はるばる遠い海からふるさと川に帰ってきたものです。この「さけ」「ます」を獲ってしまふことは「さけ」「ます」の資源を失うこととなります。川河川で「さけ」「ます」を獲るとは国の法律によって固く禁じられており、違反者は厳重に罰せられます。海内においても刺し網などで、「さけ」「ます」を獲ることは禁止されており、違反者は罰せられます。

秋さけ・ます密漁防止協賛啓発
(10月1日～12月31日)

北海道渡島支庁

さわやか君

西村 泉



問 「町民交通傷害保険」という保険を町が実施しているのと聞きましたが、その内容について教えてください。

字鹿部一町民



答

二質問の制度は、渡島支庁町村会が実施している交通傷害保険で、町が受託事業として行っているものです。

保険の内容は、日本国内において車両（自動車、汽車、自転車、バイク等）に乗っていて、衝突したり、つい落、てんぶくしたりした事故、また、歩いていてこれらの車両にはねられたり、ひかれたりした事故による死亡、傷害について保険金が支払われる制度です。ただし、航空機、船舶などによる事故は対象にはなりません。

（保険料）
年間ひとり一口三六〇円で、二口まで加入できます。
（保険期間）
十月一日から一年間です。ただし、いつでも加入できます。（保険給付金の内容）
一口につき
・亡くなられた時 一〇〇万円
・ケガで失明したり、片手等



（加入資格）
当町に住んでいる方及び当町へ通勤している方なら、どなたでも加入できます。
尚、詳しくは、役場総務課へお問い合わせ下さい。（総務課）

を失った時 一〇〇万円
ケガをした時
六ヶ月以上 一二万円
五ヶ月～六ヶ月 九万円
四ヶ月～五ヶ月 七万円
三ヶ月～四ヶ月 五万円
二ヶ月～三ヶ月 三万円
一ヶ月～二ヶ月 二万円
一週間～一ヶ月 一万円
一週間未満 五千円

戸籍の窓

世帯と人口

(59. 9. 30現在)
()は前月比です。

世帯数	1,339世帯 (-2)
男	2,566人 (-2)
女	2,552人 (±0)
計	5,118人 (-2)



おたんじょうおめでとう

村松新横川高	氏	高平平石平中松小笠佐常	氏
田川田川口鏡	名	橋野野岡井山川原藤町	名
隆夕末セ品	代	里博貴 勇 峻 里友純	父
男七治進ツ代	年	江規幸優祐仁佑志美一	母
四六才	住	達廣廣 常勝 三雄 仁男雄	住
本宮本宮宮本	所	本宮宮鹿宮鹿本本宮本	所
別浜別浜別		別浜浜部浜部別別浜別	

10月の救急病院

- 10月10日……笹 本 病 院 (七飯町) ☎0138657131
- 10月14日……国立療養所 北海道第一病院 (七飯町) ☎0138652525
- 10月21日……尚 仁 堂 診 療 所 (大野町) ☎0138778105
- 10月28日……佐 々 木 外 科 医 院 (七飯町) ☎0138633520

診療時間は午前9時～午後4時